

競技・審判上の注意

- 1 本大会は、公益財団法人日本バドミントン協会平成28年度競技規則、同大会運営規程及び同公認審判員規程により行います。
- 2 審判は、全て大会本部にて行います。
- 3 タイムテーブルの1巡目のみ開始時間が決まっていますので、開始30分前までに会場に到着してください。なお、2巡目以降は空いたコートに入る流し込み方式(試合番号順に空いたコートに入る)で行います。
- 4 競技の進行を円滑に進めるため、「選手招集」の表示や放送に十分注意してください。
- 5 試合が連続する場合は、原則として、試合終了後10分後に次の試合を開始します。競技役員の指示に従い、選手は選手招集所にすみやかに集合してください。
- 6 コーチ席2席を設けます。コーチ席に入ることができるのは、登録したコーチのみです。
- 7 コートへの入場は、主審の先導により組合せ番号の若番チーム(選手)から行います。退場は、主審の先導により勝利チーム(選手)から行います。
- 8 各試合(マッチ)のインターバルは次のとおりです。
 - ①各ゲームにおいて一方のサイドが11点になったとき、60秒を超えないインターバルを認めます。選手は20秒前にはコートに入ってください。
 - ②第1ゲームと第2ゲームの間、第2ゲームと第3ゲームの間に120秒を超えないインターバルを認めます。選手は20秒前にはコートに入ってください。
- 9 インターバル中でのアドバイスは、同時に2人までコートに入ってもよいですが、主審が「20秒」とコールしたら、すみやかにコートから離れてください。
- 10 試合(マッチ)中の水分補給、汗拭き、ラケットの交換、靴ひもの締め直し等、プレーを中断する場合は、必ず主審の許可を得てください。
なお、氷嚢の使用は、インターバル中のみ認めます。
 - ①ドリンク容器は、倒れてもこぼれない蓋付きボトルを使用し、主審横の指定した入れ物に入れてください。
 - ②氷嚢は、ベンチまたはコーチ席で小型の保冷バッグ(ソフトバック)等に入れ、保管してください。
- 11 主審が必要と認めた以外のプレーの中断は、一切認めません。
- 12 シャトルは試打してありますので、選択は認めません。また、シャトルの交換については主審が決定しますので、指示に従ってください。
- 13 試合中のけがや病気に対しては、主審が判断します。主審が必要に応じて競技役員長(レフェリー)を呼んだ時は、競技役員長(レフェリー)の判断に従ってください。
- 14 審判の判定に「抗議」や「異議」を唱えることは一切認めません。もし判定に対して疑問のある場合には、次のサービスが行われる前に「質問」をすることができます。
ここで質問のできる者とは、当該選手及びコーチに限ります。試合(マッチ)中、インプレーでない時のアドバイスはコーチ席に座って行き、試合(マッチ)中はコートのそばに立ってはいけません。また、コーチが他のコートに移動したいときは、必ずインプレーでないときに行ってください。
- 15 競技フロア内での携帯電話等の使用は、一切認めません。携帯電話等は電源を切るか、マナーモードにしてください。
- 16 試合中にモバイル機器(iPad・携帯電話等)を使用したアドバイス・コーチングは禁止します。
- 17 選手は試合開始前および終了後に、主審と握手をすることを心掛けてください。

- 18 試合中の服装は、白または(公財)日本バドミントン協会審査合格品とし、試合時必ず上着の背面中央にゼッケンを付けてください。上着の背面の中央に、都道府県名及び個人名(フルネーム)を明記してください。所属チーム名は記載されていても構いません。
また、ユニフォームの広告(ロゴ)については、平成21年8月15日付の日小連文のとおりとします。
- 19 コーチの服装は公認審判員規程第3条第5項第6号を厳守し、体育館シューズで入場してください。
- 20 その他は、代表者会議における打合せ事項のとおりとします。
- 21 コート入場後の公式練習は、1回戦のみ、主審の指示により同時に2分間行います。シングルスの場合は、対戦相手と行ってください。ダブルスはパートナーと行ってください。
この際のシャトルは各自で準備してください。

一般注意事項

- 1 開場は、8日は午前8時、9日は午前7時30分です。
- 2 競技会場は土足厳禁です。必ず内履きを持参下さい。
また、競技役員(係員)の指示や会場の指示に従い、「外履き」と「内履き」の区別をして、玄関で「外履き」から「内履き」に履き替えてください。
- 3 団(クラブ)旗・応援旗等を使用する際には、競技に支障のないように配慮をお願いします。
なお、大会本部が競技・大会運営に支障があると判断した場合には、指示に従ってください。
- 4 観客席からの大声の助言・指導およびフラッシュ・ストロボを用いての写真撮影等、競技に支障をきたす行為は禁止します。また、競技会場内の電源(コンセント)の使用は禁止します。
- 5 競技会場の外から持ち込んだゴミには、各自が責任を持って持ち帰ってください。
- 6 競技中の疾病・傷害については、応急処置のみ主催者側で行いますが、その後は各自で処置を行ってください。なお、本大会で傷害保険等には、入っていません。
- 7 防犯上、貴重品をはじめ私物の管理は、各自で責任を持って行ってください。
- 8 競技会場2階の観覧席から応援する場合、フロアへの落下防止のため、最前列は着席して応援してください。
- 9 競技会場内の通路等での「素振り」「シャトル打ち」は大変危険ですので、行わないようにしてください。